

今後の審議の進め方について

平成 28 年 5 月 20 日
経済産業省産業技術環境局計量行政室

1. 今後の審議の進め方

計量法の施行の在り方については、計量行政従事者や計量関係者も交えてより技術的かつ専門的な審議を行う必要があることから、計量行政審議会から基本部会に審議を付託することとしたい。

基本部会において、計量行政審議会でなされた議論を前提に、資料 2 の 3 つの視点（民間事業者の参入、技術革新・社会的環境変化への対応、規制範囲・規制事項等の再整理・明確化）の整理に沿って、更に詳細な審議を進めることとしたい。

基本部会は答申（とりまとめ）案を作成し、その後、計量行政審議会において、当該答申案を審議し、答申とすることとしたい。

<参考：計量行政審議会運営規程>
(部会の設置)

第 7 条

- 審議会に基本部会、計量標準部会及び計量士部会を置く。
- 2 基本部会は、計量単位、計量器の検定及び商品量目の適正化等計量に関する基本的事項について調査審議する（次二項¹に掲げるものを除く。）。

2. 審議の主なスケジュール（案）

- 基本部会 6 月 10 日から 7 月中旬までに 3 回程度開催し、答申案を作成する。
- 計量行政審議会 本年 8 月を目途に開催し、答申案について審議し、議決する。
- パブリックコメント パブリックコメントを経た後、答申する。
- なお、計量行政室では、計量行政審議会の答申に基づき、平成 29 年 4 月の公布を目途に所要の政省令等の措置の検討を行うものとする。

平成 28 年	2-3 月	「計量制度に関する課題検討会」（3 回開催）				
	4-8 月	計量行政審議会の諮問・審議（審議会 2 回、基本部会 3 回程度開催）				
		5 月 20 日 (金)	6 月 10 日 (金)	7 月上旬	7 月中旬 ～下旬	7 月下旬 ～8 月上旬
		審議会① 見直しの 全体説明	基本部会① (見直しの 説明・審議)	基本部会② (見直しの 審議)	基本部会③ (審議・ 答申案了承)	審議会② 答申案審議 (審議会了承)
	8 月-	答申案のパブリックコメント→答申				
平成 29 年	4 月	公布（具体的な施行時期は内容ごとに精査）				

¹ 計量器の校正等計量標準に関する事項及び計量士の資格に関する事項

計量行政審議会 基本部会 委員名簿（案）

（本委員）

- 一村 信吾 国立大学法人名古屋大学イノベーション戦略室長・教授
- 大谷 進 日本電気計器検定所理事長
- 大友 富子 特定非営利活動法人宮城県地域婦人団体連絡協議会会長
- 葛西 光子 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会監事
- 金澤 秀子 慶応義塾大学薬学部教授
- 河村 真紀子 主婦連合会事務局長
- 黒田 道子 東京工科大学名誉教授
- 高増 潔 国立大学法人東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻教授

（専門委員・臨時委員）

- 片桐 拓朗 一般財団法人日本品質保証機構理事
- 小林 雄志 一般社団法人日本計量振興協会推進部部長
- 早田 敦 電気事業連合会工務部長
- 高辻 利之 国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準総合センター
工学計測標準研究部門研究部門長
- 瀧田 誠治 一般社団法人日本電気計測器工業会技術・標準部部長
- 田中 正廣 一般社団法人日本環境測定分析協会会長
- 田中 康之 一般社団法人日本計量機器工業連合会理事
- 戸谷 嘉孝 東京都計量検定所所長
- 山崎 京子 独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター一次長

以上、17名（予定）

（五十音順、敬称略）

（○：計量行政審議会委員）